

◇崇城大学芸術学部・日本画
コース展 15日、熊本市中央区
の崇城大ギャラリーで始まっ
た。24日まで。学生、卒業生、
教員の計38人が約50点を出展。
動物や人物、花や風景などを題
材に、和紙や絹に描かれた日本
画が並ぶ。3年の村上明花里さ
ん(21)の「うつしみ」は、赤や
黄など淡い虹のような色合いで
ゾウを表現。はかなさや優しき
を表すため、耳の部分に花を描

いたという。独創性が目を引く。
芸術学部美術学科展の皮切り
で、7月11日まで洋画や彫刻な
ど他コースの展覧会も順次開か
れる。



色彩豊かにゾウが描かれた
「うつしみ」(手前)など約50点
が並ぶ会場＝熊本市中央区